



ふくおか [Good] 農業人100
 主な農産物 / イチゴ、米、麦

橋爪 正人さん (30歳) (営農地 / 八女市川犬)

地域の方に支えられて今の自分がある

《就農のきっかけ》

突然の父の他界

久留米市にある専門学校を卒業後、中古車販売会社など様々な職場で勤務していた橋爪さんが就農するきっかけとなったのは、10年前、イチゴを栽培していたお父さんが他界したことでした。

八女市を離れていた橋爪さんは実家の農業を継ぐため地元に戻る決断をしました。ただ、突然のことだったので農業に対して特に何のイメージも持たずに就農したそうです。実家にいるときもほとんどイチゴの手伝いなどはやっていなかったため、イチゴの栽培に関しては素人でしたが、地域の農家の方々にいろいろとアドバイスを受けながらイチゴ栽培を始めました。

《これまでの過程》

失敗からの成長

イチゴの栽培に関する知識がほとんどなかったため、就農して1年目に病害虫の防除がうまくいかず、育苗期にイチゴの重要病害である炭疽(たんそ)病が蔓延し、苗が全滅してしまいました。その年の作付ができないと落胆していましたが、そんなときに助けてくれたのは地域の方々の農家の方々でした。余った苗を少しずつ分けてもらい、何とか定植、収穫にこぎつけることができたのです。「周りの方々との助け合いがなければイチゴの栽培は難しいですね。」と橋爪さんは痛感しています。

それ以降は、毎年様々な工夫をしながら栽培を行い、収量は年々増加してきました。また、八女地区イチゴ部会の生産委員を務め地域の中心的な生産者として活躍しています。



プロフィール

- 家族構成 / 母、本人、妻、子ども3人
- 前職 / 中古車販売会社
- 営農年数 / 10年
- 耕作(経営)面積 / イチゴ(20a)、米(1.2ha)、麦(1.2ha)
- 販路 / JA共販

《これからの展望》

いろいろな人の意見を聞いてみたい

研究熱心な橋爪さんは、「毎年、イチゴの収量増加を目指していろいろなことを試みています。今後、品目は増やさず、将来的にはイチゴの栽培面積を増やしたいと思っています。雇用なども今のところ考えてはいませんが、栽培面積を増やしたときには考えてみたいと思います。機会があれば新規で就農した人やこれから就農しようと考えている人の農業への思いを聞いてみたいですね。それを自分のこれからの農業に生かすことができればいいと思います。」と語り、常に初心を忘れず熱心に技術向上に取り組んでいます。



Good 成功のためのポイント

自分一人ではうまくいかないことがあります。私自身の経験から、地域の農家の方々と助け合いながら農業を行うことが大切だと思います。